

地方独立行政法人 神戸市民病院機構 第4期中期目標の骨子（案）

（前文）

- ・政策的医療（救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、高度医療及び専門医療など）の提供
- ・新興感染症への対応、働き方改革の推進、医療DX（デジタルトランスフォーメーション）・情報セキュリティ対策の強化
- ・医療介護の連携強化を進め、地域包括ケアシステムの実現をめざす

市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 市民病院としての役割を踏まえた医療の提供

（1）中央市民病院の役割

- ア あらゆる救急疾患から市民の生命を守る
- イ 高度な専門医療、メディカルクラスター（神戸医療産業都市に集積する高度専門病院群）との連携
- ウ 最先端の治験・臨床研究
- エ 高度な小児・周産期医療

（2）西市民病院の役割

- ア 24時間体制の救急医療
- イ 低侵襲医療と治し支える医療
- ウ ハイリスク出産に対応した周産期医療
- エ 小児医療
- オ 認知症患者に対する専門医療

（3）西神戸医療センターの役割

- ア 24時間体制の救急医療
- イ 小児救急・小児医療
- ウ 地域周産期母子医療センター
- エ がん患者への幅広い支援と集学的治療
- オ 結核医療

（4）神戸アイセンター病院の役割

- ア 最先端の高度な眼科医療
- イ 臨床研究及び治験
- ウ ロービジョンケアによる患者の日常生活支援
- エ 医療人材の育成

（5）共通の役割

- ア 災害医療
- イ 新興感染症等への対応

2 地域医療機関との機能分化・連携強化及び地域への貢献

- （1）地域医療機関との機能分化・連携強化
- （2）人材育成等における地域貢献
- （3）市民への情報発信

3 信頼と満足が得られる医療の提供

- （1）患者の意思決定の支援
- （2）医療安全対策
- （3）医療の標準化
- （4）患者サービスの向上

業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 優れた専門職の確保と人材育成

- （1）職員の能力向上
- （2）医師等の働き方改革
- （3）職員が意欲的に働き続けることのできる環境づくり

2 効果的かつ効率的な業務運営体制の構築

- ・迅速かつ効果的・効率的に対応できる業務運営体制の構築
- ・関係法令の遵守
- ・業務運営の透明化

財務内容の改善に関する事項

1 経常収支目標の達成

- （1）経常収支目標の達成に向けた収入確保及び費用の最適化
- （2）計画的な投資

その他業務運営に関する重要事項

- 1 DXの推進
- 2 情報セキュリティ対策
- 3 西市民病院の再整備